

「第 45 回全日本マスターズスキー選手権秋田たざわ湖大会」における

新型コロナウイルス感染症防止対策について

1 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止ガイドラインの策定について

「第 45 回全日本マスターズスキー選手権秋田たざわ湖大会」の開催に当たり、コロナ禍にあっても「感染症の拡大を誘発させないこと」を目的として、国の方針や日本スポーツ協会のガイドライン等を踏まえて「感染症感染拡大防止ガイドライン」を策定いたしました。

大会参加される皆様におかれましては、大会公式ウェブサイトにおいて、本ガイドラインをご確認の上、記載事項を遵守くださるようお願いいたします。

【 大会公式ウェブサイト <https://mastersski-akitatazawako.com> 】

今後、ガイドラインの改訂、新たな感染防止策や対応を行う場合は、大会公式ウェブサイトで公開し、周知を図って参ります。

なお、次の 3 点が確認できない場合は、会場への入場を許可できませんので、ご注意ください。

- (1) 健康状態及び行動の記録（新型コロナウイルス感染症関連問診票 No1・No2）
 - ① 開催地への出発前 14 日間
 - ② 会場地入りから競技会期間中
- (2) 会場受付での記録の提出
- (3) ビブ・IDカードの携帯

2 OS・サポートの競技会場への入場について

新型コロナウイルス感染者の発生に備えた来場者の情報管理のため、会場受付にて（問診票 No1・No2）を提出し ID を発行し、競技会場入場時には ID カードを携帯すること（※ ID カード無き者は、如何なる理由でも会場には入場出来ません。）

【参加者への注意事項】

参加者は自らの体調を十分に確認した上で参加してください。

また、新型コロナウイルス感染症が重症化しやすい基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患、高血圧、透析を受けている方等）を持っている場合は、感染のリスクを考慮の上、参加判断を行ってください。

1 大会参加の見合わせ及び証明書類等の提出

(1) 参加の見合わせ

次の事項に該当する場合は、参加を見合わせてください。

① 体調不良の場合

ア 風邪の症状（咳・咽頭痛等）や発熱

イ 咳が長引く（1週間程度）、強いだるさ（倦怠感）など

② 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

※家族や同居されている方は既に感染している可能性があります。

③ 過去14日以内に海外渡航歴がある又は当該在住者との濃厚接触がある場合

※海外渡航歴については、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等へ渡航した場合が該当します。

(2) 証明書類等の提出

大会開催前、大会期間中において、参加者の体調及び行動歴の確認を行います。各期間の対応は後述するとおりです。

2 大会開催前（県外から出発前／県内から競技会場への上陸前）

(1) 体調及び行動歴の記録及び報告

① 参加者は、開催地に出発（県外から本県への上陸又は県内から開催地への上陸）する日までの14日間にわたり、健康状態及び行動歴を「新型コロナウイルス感染症関連問診票（No1）」により記録してください。

② 「新型コロナウイルス感染症関連問診票（No1）」について、14日間の記録において、体温測定の結果 37.5℃以上若しくは平熱より1℃以上高い場合は、感染の疑いの可能性がありますので、自らの体調を確認の上、参加の見合わせを検討するなどの判断を行ってください。

(2) 感染者への対応

PCR検査若しくは抗原検査で陽性反応があった場合は、感染者は参加を辞退してください。

(3) 濃厚接触者への対応

保健所から濃厚接触者と認められた場合は、認定された日から14日間の健康状態観察期間を経過し、症状が出ていない場合は出場しても構いません。

(4) 感染疑い者への対応

① 感染疑い者は、体調不良（発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚異常等）の症状があり、PCR検査若しくは抗原検査で「陰性」だった方、又は医療機関を受診しなかった方となります。

大会開催日の2週間前となる時点若しくは、それ以降に感染が疑われる症状が発症した場合は、インフルエンザ等の新型コロナウイルス感染症以外の感染症のリスクもあるため、原則、参加を辞退してください。

3 会場地入りから競技会期間中

(1) 全般

① 毎日の健康チェックと行動チェックを心がけてください。

② 大会本部では、会期中（宿泊を伴う場合は入宿日から）における開催地に滞在する期間（以下「滞在期間」という。）中の参加者の健康状態及び行動歴を確認します。

(2) 宿泊施設

① チェックイン時

ア 宿泊施設へチェックインする際は、フロントや施設の指定の場所で検温を行ってください。

イ 宿泊責任者などの代表者がまとめてチェックインを行い、代表者以外の宿泊者は一つの場所に固まらず、分散して待機してください。

ウ 発熱、咳、咽頭痛等の症状があり、体調が良くない場合は、「あきた新型コロナ受診相談センター」やかかりつけ医等に電話相談の上、電話した旨、電話内容を速やかに宿泊施設及び大会本部に報告してください。

② 宿泊施設から出発する時

ア 宿泊施設に入宿後、競技会場へ出発する前に検温及び当日の体調を確認してください。

イ 各宿泊施設の指定場所に非接触型体温計を設置していますので、宿泊責任者等の代表者が体温を測定してください。

ウ 体温を測定し、37.5℃以上若しくは平熱より1℃以上高い場合又は体調が良く

ない場合は、「あきた新型コロナ受診相談センター」やかかりつけ医等に電話相談の上、電話した旨、電話内容を速やかに宿泊施設及び大会本部に報告してください。

③ 宿泊施設滞在中（各エリアの留意点）

ア 客室

- ・ 定期的に客室の窓を開けて換気を行ってください。
- ・ 客室内のトイレでは、蓋を閉めて汚物を流してください。

イ 大浴場

- ・ 入浴時間帯が集中して浴室内が混雑することがないように、大勢での入浴を避け、個々人の利用時間を短くし、速やかに退室してください。
- ・ 脱衣室などに備え付けてあるタオルを極力使用しないこととし、客室内の個人用タオルを持参し使用してください。
- ・ 浴室や浴槽、サウナ等の個室内ではソーシャルディスタンスの確保を心がけ、大声で話さないよう努めてください。

ウ 食事会場

- ・ 食事会場の収容人数等の関係から、人数制限や滞在時間の制限が行われる場合があります。宿泊施設の指示に従い入場してください。
- ・ 飛沫感染防止のため対面での食事を禁止とする施設がありますので、宿泊施設の指示に従ってください。
- ・ 食事会場に入場する際には、手洗い、手指消毒を徹底し、食事開始までマスクの着用を心がけてください。
- ・ 発熱、咳、咽頭痛等の症状があり、体調が良くない場合は、入場をしないこととし、代表者に申し出てください。代表者は宿泊施設の従業員にその旨を報告の上、宿泊施設の指示に従ってください。

(3) 競技会場

- ① 全日本スキー連盟の「新型コロナウイルス感染対策ガイドライン」や 競技毎のガイドラインを参照の上、競技に参加してください。
- ② 体調不良者が確認された場合は、選手団の監督などの代表者に報告してください。代表者は大会本部に報告、大会本部の指示に従ってください。
- ③ 発熱や体調不良の対応
 - ア 体温を測定し、37.5℃以上又は平熱より1℃以上高いなど体調不良の場合は発熱対応の救護本部へ移動していただきます。
 - イ 「あきた新型コロナ受診相談センター」に電話相談し、指示を受けてください。
- ④ 体温を測定し、37.5℃以上若しくは平熱より1℃以上高いなど体調不良又は感染の疑いがあると確認された参加者は、医療機関の受診や帰宅を促すなど必要な対応を取りますので、大会本部の指示に従ってください。

「あきた新型コロナ受診相談センター」

〈 24時間受付 〉

TEL：018-866-7050

〈 8:00~17:00（毎日） 〉

TEL：018-895-9176 TEL：0570-011-567